

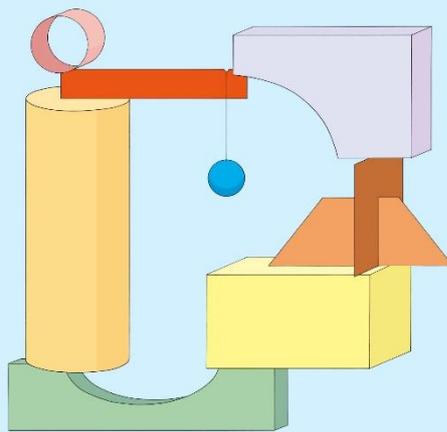
さわれる作品や参加型プログラム多数、他者の多様な「感覚」にふれる展覧会

今村遼佑×光島貴之 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト

〈感覚の点P〉展

2025年2月15日（土）—5月11日（日） 東京都渋谷公園通りギャラリーにて開催

IMAMURA Ryosuke × MITSUSHIMA Takayuki
Research Project on the Senses:
Any Point "P" in the Domain of Sensations



今村遼佑×光島貴之
感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト
〈感覚の点P〉展

2025年2月15日（土）—5月11日（日）
15 February (Sat) - 11 May (Sun) 2025

①展覧会ビジュアル デザイン：芝野健太、アートワーク：カワイハルナ

東京都渋谷公園通りギャラリーでは、2025年2月15日（土）から5月11日（日）まで、「今村遼佑×光島貴之 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト 〈感覚の点P〉展」を開催いたします。

タイトルの〈感覚の点P〉とは、数学の問題に用いられる「任意の点P」を「ある人が持つ独自の感覚」になぞらえたもので、ひとりひとり異なる感覚を通して、多様な世界の在り方にふれてみることを試みます。

展覧会概要

美術作家・今村遼佑と全盲の美術作家・光島貴之による作品展示と、感覚をめぐるリサーチの記録を報告・展示します。世代も制作スタイルも異なる二人は、京都を拠点に2022年頃より対話をはじめ、共通の体験を糸口に個々の美術作家としての感覚の違いに注目して、そこから生まれる新たな表現を探ってきました。

東京都渋谷公園通りギャラリーでは、この活動をより多くの方と共有する試みのひとつとして、2024年5月にプレイベントを開催。今村と光島の作品展示の他、二人が共同制作した、ふれて鑑賞する作品《触覚のテーブル》を用いたワークショップを行いました。続く本展では、新たに渋谷で制作された作品やリサーチの記録を加え、これまでの軌跡と共にご紹介します。3つの展示室に広がる今村のインスタレーション作品や、手でふれることのできる光島のレリーフ状の作品は、鑑賞者が直感的に楽しむことのできる展示です。今村と光島がそれぞれ異なるゲストを招いて行う《触覚のテーブル》ワークショップなど、参加型プログラムも多数実施します。



今村遼佑（左）光島貴之（右）と
《触覚のテーブル》 ※2024年撮影

このリリースにかかるお問い合わせ／取材お申し込み

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 文化共生課

Tel：03-5422-3151

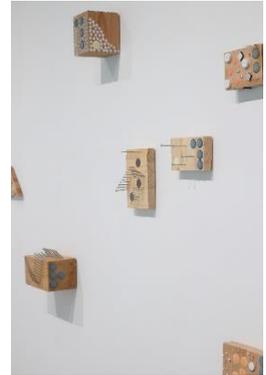
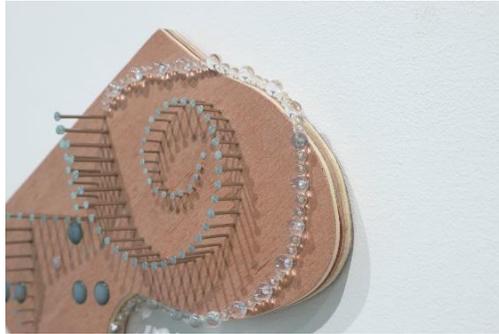
Fax：03-3464-5241

E-mail：pr-skdg@mot-art.jp

展覧会の見どころ

① さわれる展示

この展覧会では、さわることのできる作品が多数展示されます。今村遼佑のインスタレーション作品《プリペアド・トイピアノ》は、鑑賞者がおもちゃのピアノにふれると、鍵盤の数と同じ 32 個の仕掛けが 3 つの展示室のどこかで動きます。光島貴之のレリーフ状の作品《さやかに色点字 — 中原中也の詩集より》は、釘やカッティングシートなど、手ざわりの異なる多様な素材の組み合わせにふれることで、鑑賞者は、光島の感じた世界をたどります。



② 今村遼佑《プリペアド・トイピアノ》2023 年
撮影：片山達貴

※「今村遼佑×光島貴之〈感覚の果て〉」展
アトリエみつま Sawa-Tadori 展示風景

③④ 光島貴之《さやかに色点字 — 中原中也の詩集より》2023-2024 年
撮影：前谷開

※「今村遼佑×光島貴之〈感覚の点P〉展 プレイベント」東京都渋谷公園通りギャラリー
展示風景

② ユニークなリサーチの報告

二人のリサーチは、2022 年に石庭を眺めることから始まり、見える人もしくは見えない人のように、二項対立構造的な説明では表現できない複雑さで、周囲の人へと協働の輪を広げながら進んできました。その内容は、野外彫刻や森の木にふれる、点訳本（点字図書）について考察する、光島の感覚をたどりながら近所を歩く、スルーネットピンポン（誰もが同じルールでプレーできるバリアフリースポーツ）をするなど、多岐に渡ります。本展では、10 件を超えるリサーチの記録を一堂に展示・報告します。



二人のリサーチの様子 左から、

⑤ 近所を歩く（2022 年）⑥ 石庭をみにいく（2022 年）⑦ スルーネットピンポン体験会（2024 年）⑧ 木をさわりにいく（2024 年）

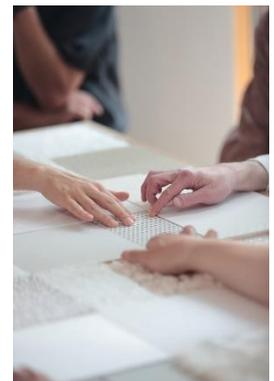
③ 参加型プログラムを多数開催

作家が特別ゲストと共にファシリテーションする《触覚のテーブル》*ワークショップの他、《プリペアド・トイピアノ》の演奏会（出演：野村誠 2025 年 2 月 16 日（日）開催予定）、スルーネットピンポン体験会、鑑賞会（ナビゲーター：白鳥建二）など、本展では複数の関連イベントを実施します。 ※詳細は、ウェブサイトにて随時公開。

*《触覚のテーブル》は、会期中、自由にふれてご覧いただけます。

この他、会場では二人の映像作品や、プレイベント（会期：2024 年 5 月 19 日～26 日、会場：東京都渋谷公園通りギャラリー）で実施したワークショップの記録映像*（出演：今村遼佑、光島貴之、L PACK、伊藤亜紗、白鳥建二、他）を上映します。

*ワークショップの記録映像は、字幕及び音声解説付きで上映予定。

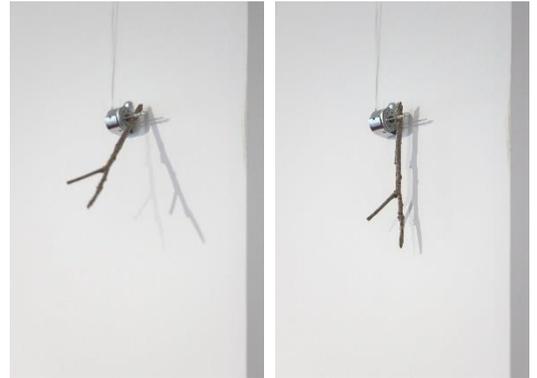


⑨ 《触覚のテーブル》ワークショップ風景 撮影：前谷開

作家プロフィール

今村遼佑 IMAMURA Ryosuke

1982年京都府生まれ。インスタレーション、映像、絵画、テキストなど多様な手法で、生活の中のささやかな出来事を取り上げ、見る人の記憶や感覚に働きかける表現を行っている。2018年より携わるプロジェクト「アートと障害のアーカイブ・京都」（きょうと障害者文化芸術推進機構）を通して光島と出会う。2023-2024年「味／処」展 神奈川県民ホールギャラリー（神奈川県）他、多数の出展歴と、複数の在外経験がある。



⑩⑪ 今村遼佑《どこかのこと》2024年 撮影：前谷開
※「今村遼佑×光島貴之〈感覚の点P〉展 プレイベント」東京都渋谷公園通りギャラリー 展示風景

光島貴之 MITSUSHIMA Takayuki

1954年京都府生まれ。10歳の頃に失明し、鍼灸を生業としながら、テープやカットニングシートを用いた「さわる絵画」の他、「触覚コラージュ」*、「釘シリーズ」など独自の手法で、自身の身体感覚を投影した新たな表現手法を探求。2020年、バリアへの新しいアプローチを実践する拠点として「アトリエみつしま」を開業。2019年「MOT サテライト 2019 ひろがる地図」東京都現代美術館（東京都）他、多数の出展歴がある。

*鑑賞者は、多様な手ざわりを組み合わせさせた素材にふれることで、光島の感じた世界をたどる。



⑫ 光島貴之《さやかに色点字 — 中原中也の詩集より》
2023-2024年 撮影：片山達貴
※「今村遼佑×光島貴之〈感覚の果て〉」展 アトリエみつしま Sawa-Tadori 展示風景

開催概要

展覧会名： 今村遼佑×光島貴之 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト
〈感覚の点P〉展

会 期： 2025年2月15日（土）-5月11日（日）

開館時間： 11:00-19:00

休館日： 月曜日（2月24日、5月5日は開館）、2月25日、5月7日

会 場： 東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室1・2、交流スペース
（東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F）

入 場 料： 無 料

出展作家： 今村遼佑、光島貴之

企 画： アトリエみつしま、今村遼佑、東京都渋谷公園通りギャラリー

主 催： 東京都渋谷公園通りギャラリー（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

展覧会ウェブサイト： <https://inclusion-art.jp/s/anypoint-p>

問い合わせ： inclusion@mot-art.jp



⑬ 展覧会ビジュアル デザイン：芝野健太、
アートワーク：カワイハルナ

*開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



[取材・画像使用申込書]

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

E-mail : pr-skdg@mot-art.jp Fax : 03-3464-5241

取材および広報用画像について

本展覧会の取材を希望される場合は、本紙に必要な事項をご記入の上、EメールまたはFAXにてお申し込みください。また、このリリースに掲載されている画像①～⑬をデータにてご用意しております。画像を希望される場合は、希望画像の番号（ここに掲載されていない画像も相談可）をご記入の上、広報担当までご連絡ください。

取材希望

画像使用希望

取材希望日時：	
使用希望画像：	
貴社名：	
貴媒体名：	
種別：	TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー WEB その他（ ）
掲載・放送予定日：	
ご担当者名：	
Eメールアドレス：	
ご住所：	(〒)
お電話番号：	
FAX：	
その他：	

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

- ・ 作品画像を掲載する際は、当該作品のクレジット（作家名・作品名・制作年・所蔵・コピーライト）を必ず明記してください。但し、画像に添えた「※～」の記述は、省略可。
- ・ 掲載画像のトリミング、文字載せはお控えください。
- ・ 記事掲載・放送日が決まりましたら、事前にご連絡ください。併せて、掲載内容もお知らせいただけますと幸いです。